○【脳卒中対策】各指標の状況

【資料1－2】

【予防】

番号	具体的施策		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	循環器病予防の生活習慣の定着		策定時	1年後	2年後	3年後	
	20歳以上の喫煙率		15.7%【R4】	―	―	―	
	20歳以上の平均食塩摂取量	男性	11.6g【参考値】	12.2g【R4】	―	―	
		女性	9.3g【参考値】	10.1g【R4】	―	―	
2	生活習慣病を早期に発見する		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	特定健康診査受診率		59.3%【R3】	61.4%【R4】	63.7%【R5】	66.5%【R6】	70%以上

番号	中間アウトカム		策定時	1年後	2年後	3年後	
1	脳卒中の発症が減少している		策定時	1年後	2年後	3年後	
	脳血管疾患受療率*	入院	92人【R2】	86人【R5】	―	―	
		外来	58人【R2】	61人【R5】	―	―	
2	保健指導を受診できている		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	特定保健指導実施率		23.7%【R3】	26.3%【R4】	27.0%【R5】	27.5%【R6】	45%以上

番号	最終アウトカム			策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	県民がより長く元気に生活を送っている			策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	男性	平均寿命	81.8【R3】	81.5【R4】	81.3【R5】	81.2【R6】	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
			健康寿命	79.0【R3】	78.8【R4】	78.7【R5】	78.5【R6】	
		女性	平均寿命	87.7【R3】	87.3【R4】	87.1【R5】	87.1【R6】	
			健康寿命	81.3【R3】	81.3【R4】	81.2【R5】	81.1【R6】	

【救急】

番号	具体的施策	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	適切な救急搬送体制の確保	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	救急車の現場滞在時間30分以上の割合（脳卒中疑い）	4.5%【R4】	4.0%【R5】	3.0%【R6】	3.0%【R7】	2.6%以下
	4回以上医療機関に要請を行った割合（脳卒中疑い）	1.4%【R4】	0.9%【R5】	1.0%【R6】	0.8%【R7】	0.7%以下
2	発症初期の適切な処置の認知度向上	策定時	1年後	2年後	3年後	
	応急手当普及啓発講習（普通・上級）受講者数*	397.8人【R4】	710.0人【R5】	733.1人【R6】	733.1人(※1)【R6】	

番号	中間アウトカム	策定時	1年後	2年後	3年後
1	発症後早期に医療機関へ搬送される	策定時	1年後	2年後	3年後
	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	42.4分【R4】	40.4分【R5】	39.4分【R6】	39.4分(※1)【R6】

番号	最終アウトカム		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	脳卒中による死亡が減少している		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	循環器病による年齢調整死亡率*	男性	300.2【R4】	302.8【R5】	295.2【R6】	299.1【R7】	227以下
		女性	182.9【R4】	184.3【R5】	172.7【R6】	165.2【R7】	124以下
	脳血管疾患による年齢調整死亡率*	男性	84.8【R4】	81.9【R5】	78.1【R6】	73.0【R7】	61以下
		女性	58.7【R4】	55.0【R5】	49.1【R6】	45.0【R7】	35以下

【急性期】

番号	具体的施策		策定時	1年後	2年後	3年後
1	手術の担い手の確保		策定時	1年後	2年後	3年後
	脳神経内科医師数*		6.4人【R2】	6.2人【R4】	7.6人【R6】	7.6人(※1)【R6】
	脳神経外科医師数*		5.8人【R2】	6.4人【R4】	6.0人【R6】	6.0人(※1)【R6】
2	手術提供体制の確保		策定時	1年後	2年後	3年後
	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数		16施設【R6.1】	16施設【R6.10】	16施設【R7.10】	16施設(※1)【R7.10】
	うち、t-PAによる血栓溶解療法が24時間実施可能な医療機関数		11施設【R6.1】	11施設【R6.10】	11施設【R7.10】	11施設(※1)【R7.10】
	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数		13施設【R6.1】	13施設【R6.10】	13施設【R7.10】	13施設(※1)【R7.10】
	脳動脈瘤クリッピング術またはコイル塞栓術が実施可能な医療機関数		14施設【R6.1】	14施設【R6.10】	13施設【R7.10】	13施設(※1)【R7.10】

番号	中間アウトカム		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	搬送後、適切な治療を受けることができる		策定時	1年後	2年後	3年後	
	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数*		11.3件【R3】	11.7件【R4】	13.8件【R5】	11.9件【R6】	
	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数*		12.8件【R3】	11.5件【R4】	15.2件【R5】	15.4件【R6】	
	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数*		4.8件【R3】	3.8件【R4】	5.0件【R5】	4.5件【R6】	
	くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数*		3.4件【R3】	3.9件【R4】	3.9件【R5】	5.2件【R6】	
2	早期のリハビリテーションを受けることができる		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数*		623件【R3】	608件【R4】	662件【R5】	725件【R6】	―
	SCRにおける脳血管疾患等のリハビリテーション料（入院+外来）	入院・外来	67.6【R3】	68.7【R4】	―	―	100以上
		入院	67.7【R3】	69.9【R4】	―	―	
		外来	67.5【R3】	65.8【R4】	―	―	

※1 … 現時点で、最新の現状値が不明であるため、前年度に把握した数値による記載となっています。
今後、最新の数値が把握でき次第、更新します。

＊は人口10万人あたりで算出

3	24時間手術実施可能な体制の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	脳卒中集中治療室(SCU)を有する医療機関数*	0.2施設 【R2】	0.2施設 【R5】	―	―
	脳卒中集中治療室(SCU)を有する病床数*	1.3床 【R2】	1.3床 【R5】	―	―
4	リハビリテーションが実施可能な施設の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	脳血管疾患等のリハビリテーション科算定届出施設数	105施設 【R6.1】	109施設 【R7.1】	110施設 【R8.1】	110施設(※2) 【R8.9】
5	リハビリテーション等専門職の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	理学療法士数*	61人 【R2】	65人 【R5】	―	―
	作業療法士数*	32人 【R2】	36人 【R5】	―	―
	言語聴覚士数*	10人 【R2】	11人 【R5】	―	―
6	急性期と回復期の連携強化	策定時	1年後	2年後	3年後
	脳卒中地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数	28施設 【R6.1】	28施設 【R6.10】	28施設 【R7.10】	28施設(※1) 【R7.10】

【回復期】

1	急性期と回復期の連携強化	策定時	1年後	2年後	3年後
	脳卒中地域連携クリティカルパスを導入している医療機関数(再掲)	28施設 【R6.1】	28施設 【R6.10】	28施設 【R7.10】	28施設(※1) 【R7.10】
2	回復期リハビリテーション提供体制の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	回復期リハビリテーション病床数	1,177床 【R4】	1,190床 【R5】	1,204床 【R6】	1,209床 【R7】
3	再発予防・合併症予防に向けた体制整備	策定時	1年後	2年後	3年後
	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師数*	0.6人 【R4.12】	0.6人 【R5.12】	0.5人 【R6.12】	0.5人 【R7.12】
	歯科訪問診療を実施する施設数*	15.7施設 【R3】	16.2施設 【R4】	16.8施設 【R5】	16.9施設 【R6】
4	両立支援を提供できる人材の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数*	3.3人 【R4】	2.8人 【R5】	3.1人 【R6】	2.6人 【R7】

【維持期】

1	急性期や回復期、リハビリ施設との連携強化	策定時	1年後	2年後	3年後
	入退院支援加算届出数	54施設 【R6.1】	56施設 【R7.1】	56施設 【R8.1】	59施設(※2) 【R8.9】
	介護支援連携指導の実施件数*	330.0件 【R3】	369.6件 【R4】	474.2件 【R5】	505.6件 【R6】
2	リハビリテーション実施可能施設の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	脳血管疾患等のリハビリテーション料算定届出施設数(再掲)	105施設 【R6.1】	109施設 【R7.1】	110施設 【R8.1】	110施設(※2) 【R8.9】
	通所リハビリテーションを提供している事業所数*	5.5施設 【R4】	6.7施設 【R5】	6.7施設 【R6】	6.7施設(※1) 【R6】

1	継続したリハビリテーションを受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(再掲)*	623件 【R3】	608件 【R4】	662件 【R5】	725件 【R6】	―
	SCRにおける脳血管疾患等リハビリテーション料(入院+外来)(再掲)	67.6 【R3】	68.7 【R4】	―	―	100 以上
2	リハビリテーションをとおして症状を改善できる	策定時	1年後	2年後	3年後	
	ADL改善率	61.4% 【R4】	67.8% 【R5】	62.1% 【R6】	64.1% 【R7】	
3	循環器病に関する相談を受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	脳卒中・心臓病等総合支援センター等の相談支援患者数	953人 【R4】	1,136人 【R5】	1,021人 【R6】	1,663人 【R7】	2,000 人以上

1	継続したリハビリテーションを受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(再掲)*	623件 【R3】	608件 【R4】	662件 【R5】	725件 【R6】	―
	SCRにおける脳血管疾患等リハビリテーション料(入院+外来)(再掲)	67.6 【R3】	68.7 【R4】	―	―	100 以上
2	充実した在宅診療を受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	
	訪問リハビリテーションを受ける利用者数*	1,605.1人 【R3】	1,755.8人 【R4】	1,820.1人 【R5】	1,819.7人 【R6】	
	通所リハビリテーションを受ける利用者数*	5,548.2人 【R3】	5,550.1人 【R4】	5,659.8人 【R5】	5,801.1人 【R6】	

1	患者が自分らしく生活することができる		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	脳血管疾患患者における在宅等の生活の場に復帰した割合		57.0% 【R2】	―	―	51.2% 【R5】	60% 以上
	健康寿命と平均寿命の差	男性	2.8歳 【R3】	2.7歳 【R4】	2.6歳 【R5】	2.7歳 【R6】	
		女性	6.4歳 【R3】	6.0歳 【R4】	5.9歳 【R5】	6.0歳 【R6】	

＊は人口10万人あたりで算出

※1 … 現時点で、最新の現状値が不明であるため、前年度に把握した数値による記載となっています。
今後、最新の数値が把握でき次第、更新します。
※2 … 令和8(2026)年9月1日現在の実績となっています。今後、確定値が把握でき次第、更新します。

○【心筋梗塞等の心血管疾患対策】各指標の状況

【資料1－2】

具体的施策

【予防】

番号				策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	循環器病予防の生活習慣の定着							
	20歳以上の喫煙率			15.7%【R4】	―	―	―	
	20歳以上の平均食塩摂取量	男性		11.6g【参考値】	12.2g【R4】	―	―	
		女性		9.3g【参考値】	10.1g【R4】	―	―	
2	生活習慣病を早期に発見する			策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	特定健康診査受診率			59.3%【R3】	61.4%【R4】	63.7%【R5】	66.5%【R6】	70%以上

【救急】

番号				策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	適切な救急搬送体制の確保							
	救急車の現場滞在時間30分以上の割合（心筋梗塞疑い）			3.6%【R4】	3.5%【R5】	1.9%【R6】	2.8%【R7】	2.6%以下
	4回以上医療機関に要請を行った割合（心筋梗塞疑い）			1.7%【R4】	1.1%【R5】	1.1%【R6】	1.5%【R7】	0.7%以下
2	発症初期の適切な処置の認知度向上			策定時	1年後	2年後	3年後	
	応急手当普及啓発講習（普通・上級）受講者数*			397.8人【R4】	710.0人【R5】	733.1人【R6】	733.1人(※1)【R6】	
	心肺機能停止傷病者（心肺停止患者全搬送人数のうち、一般市民により除細動が実施された件数*			1.9件【R4】	2.5件【R5】	1.8件【R6】	1.8件(※1)【R6】	
	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した件数*			17.7件【R4】	15.6件【R5】	14.5件【R6】	14.5件(※1)【R6】	

【急性期】

番号				策定時	1年後	2年後	3年後
1	手術の担い手の確保						
	循環器内科医師数*			19.2人【R2】	18.4人【R4】	18.4人【R6】	18.4人(※1)【R6】
	心臓外科医師数*			2.5人【R2】	2.2人【R4】	2.3人【R6】	2.3人(※1)【R6】
	小児循環器専門医数			4人【R5】	4人【R6】	5人【R7】	6人【R8】
	成人先天性心疾患専門医数			2人【R4.4】	2人【R6.4】	2人【R7.4】	2人【R8.4】
	小児循環器専門医修練施設数			1施設【R2】	1施設【R6】	1施設【R7】	1施設(※1)【R7】
	成人先天性心疾患専門医総合・連携修練施設数			1施設【R5.4】	1施設【R6.4】	1施設【R7.4】	1施設【R8.4】
2	手術提供体制の確保			策定時	1年後	2年後	3年後
	急性冠動脈造影・治療が実施可能な医療機関数			23施設【R6.1】	23施設【R6.10】	23施設【R7.10】	23施設(※1)【R7.10】
	大動脈バルーンパンピング法が実施可能な医療機関数			19施設【R6.1】	19施設【R6.10】	20施設【R7.10】	20施設(※1)【R7.10】
	経皮的心肺補助装置（PCPS）が使用可能な医療機関数			16施設【R6.1】	16施設【R6.10】	16施設【R7.10】	16施設(※1)【R7.10】
	補助循環用ポンプカテーテル（IMPELLA）が使用可能な医療機関数			4施設【R6.1】	4施設【R6.10】	4施設【R7.10】	4施設(※1)【R7.10】
3	24時間手術実施可能な体制の確保			策定時	1年後	2年後	3年後
	心臓内科系集中治療室（CCU）を有する病院数*			0.2施設【R2】	0.2施設【R5】	―	―
	心臓内科系集中治療室（CCU）を有する病床数*			0.9床【R2】	0.8床【R5】	―	―

中間アウトカム

番号				策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	心血管疾患の発症が減少している							
	心疾患受療率*	入院		44人【R2】	42人【R5】	―	―	
		外来		107人【R2】	144人【R5】	―	―	
2	保健指導を受診できている			策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	特定保健指導実施率			23.7%【R3】	26.3%【R4】	27.0%【R5】	27.5%【R6】	45%以上

番号			策定時	1年後	2年後	3年後
1	発症後早期に医療機関へ搬送される					
	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間		42.4分【R4】	40.4分【R5】	39.4分【R6】	39.4分(※1)【R6】

番号			策定時	1年後	2年後	3年後
1	搬送後、適切な治療を受けることができる					
	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベーション実施件数*		160.3件【R3】	―	―	―
	うち、心筋梗塞に対する来院後90分以内冠動脈再開通件数*		30.5件【R3】	27.9件【R4】	29.1件【R5】	30.1件【R6】
	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数*		11.0件【R3】	12.5件【R4】	10.6件【R5】	11.8件【R6】

最終アウトカム

番号				策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	県民がより長く元気に生活を送っている							
	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	男性	平均寿命	81.8【R3】	81.5【R4】	81.3【R5】	81.2【R6】	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
			健康寿命	79.0【R3】	78.8【R4】	78.7【R5】	78.5【R6】	
		女性	平均寿命	87.7【R3】	87.3【R4】	87.1【R5】	87.1【R6】	
			健康寿命	81.3【R3】	81.3【R4】	81.2【R5】	81.1【R6】	

番号				策定時	1年後	2年後	3年後	目標
1	心疾患による死亡が減少している							
	循環器病による年齢調整死亡率*	男性		300.2【R4】	302.8【R5】	295.2【R6】	299.1【R7】	227以下
		女性		182.9【R4】	184.3【R5】	172.7【R6】	165.2【R7】	124以下
	心疾患による年齢調整死亡率*	男性		215.4【R4】	220.9【R5】	217.1【R6】	226.1【R7】	167以下
		女性		124.2【R4】	129.3【R5】	123.5【R6】	120.3【R7】	90以下

※1 … 現時点で、最新の現状値が不明であるため、前年度に把握した数値による記載となっています。
今後、最新の数値が把握でき次第、更新します。

＊は人口10万人あたりで算出

【回復期】

1	回復期リハビリテーション提供体制の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	回復期リハビリテーション病床数	1,177床 【R4】	1,190床 【R5】	1,204床 【R6】	1,209床 【R7】
	心大血管リハビリテーション料届出医療機関数	23施設 【R6.1】	24施設 【R7.1】	26施設 【R8.1】	26施設(※2) 【R8.9】
	心臓リハビリテーション指導士数*	2.9人 【R6.2】	3.3人 【R7.2】	3.4人 【R8.2】	3.4人(※1) 【R8.2】
2	リハビリテーション等専門職の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	理学療法士数*	61人 【R2】	65人 【R5】	—	—
	作業療法士数*	32人 【R2】	36人 【R5】	—	—
	言語聴覚士数*	10人 【R2】	11人 【R5】	—	—
3	再発防止に向けた体制整備	策定時	1年後	2年後	3年後
	慢性心不全看護認定看護師数*	0.3人 【R4.12】	0.3人 【R5.12】	0.3人 【R6.12】	0.3人 【R7.12】
	歯科訪問診療を実施する施設数*	15.7施設 【R3】	16.2施設 【R4】	16.8施設 【R5】	16.9施設 【R6】
4	緩和ケア提供体制の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	緩和ケア診療加算・有床診療所緩和ケア診療診療加算届出施設数	8施設 【R6.1】	7施設 【R7.1】	8施設 【R8.1】	7施設(※2) 【R8.9】
	心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数*	1.3人 【R4.10】	1.5人 【R6.4】	—	—
	緩和ケア認定看護師数*	1.1人 【R4.12】	1.2人 【R5.12】	1.1人 【R6.12】	1.2人 【R7.12】
5	多職種連携の整備	策定時	1年後	2年後	3年後
	心不全療養指導士数*	3.6人 【R5.12】	4.0人 【R6.7】	5.5人 【R7.7】	7.0人 【R8.7】
6	両立支援を提供できる人材の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数*	3.3人 【R4】	2.8人 【R5】	3.1人 【R6】	2.6人 【R7】

【維持期】

1	リハビリテーション実施可能施設の確保	策定時	1年後	2年後	3年後
	心大血管リハビリテーション料届出医療機関数（再掲）	23施設 【R6.1】	24施設 【R7.1】	26施設 【R8.1】	26施設(※2) 【R8.9】
2	在宅医療提供体制の整備	策定時	1年後	2年後	3年後
	訪問診療を実施している施設数*	22.6施設 【R3】	22.7施設 【R4】	22.7施設 【R5】	25施設 【R6】
	訪問介護ステーションに勤務する看護師数*	53.8人 【R4.10】	61.5人 【R5.10】	69.3人 【R6.10】	69.3人(※1) 【R6.10】

※1 … 現時点で、最新の現状値が不明であるため、前年度に把握した数値による記載となっています。
今後、最新の数値が把握でき次第、更新します。
※2 … 令和8(2026)年9月1日現在の実績となっています。今後、確定値が把握でき次第、更新します。

1	継続したリハビリテーションを受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	心血管疾患リハビリテーション実施件数（入院）*	149件 【R3】	155件 【R4】	165件 【R5】	165件 【R6】	—
	SCRにおける心大血管疾患リハビリテーション料 入院・外来	77.5 【R3】	79.6 【R4】	—	—	100 以上
	SCRにおける心大血管疾患リハビリテーション料 入院	73.3 【R3】	74.8 【R4】	—	—	
	SCRにおける心大血管疾患リハビリテーション料 外来	160.1 【R3】	168.1 【R4】	—	—	
2	治療をとおして症状を改善することができる	策定時	1年後	2年後	3年後	
	心血管疾患の退院患者平均在院日数	21.8日 【R2】	14.7日 【R5】	—	—	
3	心身の緩和ケアを安心して受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	
	SCRにおける緩和ケア診療加算	36.7 【R3】	33.8 【R4】	—	—	
4	循環器病に関する相談を受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	脳卒中・心臓病等総合支援センター等の相談支援患者数	953人 【R4】	1,136人 【R5】	1,021人 【R6】	1,663人 【R7】	2,000人 以上

1	継続したリハビリテーションを受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	心血管疾患リハビリテーション実施件数（外来）*	243件 【R3】	276件 【R4】	314件 【R5】	331件 【R6】	—
	SCRにおける心大血管疾患リハビリテーション料（入院+外来）（再掲）	77.5 【R3】	79.6 【R4】	—	—	100 以上
2	充実した在宅診療を受けることができる	策定時	1年後	2年後	3年後	
	訪問診療を受けた患者数*	7,353.5人 【R3】	7,777.2人 【R4】	8,335.3人 【R5】	9,176.8人 【R6】	
	訪問看護利用者数*	78.1人 【R3】	89.1人 【R4】	57.2人 【R5】	58.1人 【R6】	

1	患者が自分らしく生活することができる		策定時	1年後	2年後	3年後	目標
	虚血性心疾患患者における在宅等の生活の場に復帰した割合		92.3% 【R2】	—	—	94.8% 【R5】	96% 以上
	健康寿命と平均寿命の差	男性	2.8歳 【R3】	2.7歳 【R4】	2.6歳 【R5】	2.7歳 【R6】	
	健康寿命と平均寿命の差	女性	6.4歳 【R3】	6.0歳 【R4】	5.9歳 【R5】	6.0歳 【R6】	

＊は人口10万人あたりで算出